

生活科学科 食物栄養専攻の三つの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生活科学科食物栄養専攻は、教養科目と専門科目を合計して62単位以上を修得し、以下の【学習成果】を獲得したと認められる者について、卒業を認定するとともに短期大学士(食物栄養)の学位を授与する。

【学習成果】

<知識・技能>

- 1 建学の精神を理解している。
- 2 栄養士として求められる専門的知識と技術を修得している。
- 3 栄養士になるために、社会人として必要な教養を修得している。

<思考力・判断力・表現力>

- 4 社会のニーズに対応できる食育・栄養の専門的知識とプレゼンテーション能力を修得している。

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 5 「いのち」を守るために、多様な人々と協働して課題の発見・解決に取り組むことができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

<知識・技能>

- 1 建学の精神を理解する科目を編成する。
- 2 人体・栄養・健康に関する知識と技術を修得する科目を編成する。
- 3 食品・調理に関する知識と技術を修得する科目を編成する。
- 4 社会生活・文化に関する知識と技術を修得する科目を編成する。

<思考力・判断力・表現力>

- 5 コミュニケーション力・プレゼンテーション力・課題解決力に関する知識と技術を修得する科目を編成する。

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 6 社会の変化に対応して、自発的に学び続け、多様な人々と協働し、地域の健康づくりや生活習慣病予防に貢献できる実践力を修得する科目を編成する。

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

<知識・技能> <思考力・判断力・表現力>

- 1 建学の精神を理解しようとする意欲のある人。
- 2 入学後の学修に必要な基礎学力としての知識を有している人。

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 3 食に関心があり、学ぶ意欲がある人。
- 4 思いやりの心を持ち、チームで協働できる人。
- 5 食の専門家になるための明確な目的意識を持ち、努力ができる人。